

## 2009年度 「学生による授業アンケート」の実施について

1. 目的 : 本アンケートは、本学の教育力を測定し、本学で開講する授業の教育方法を継続して改善するための組織的なFD活動を推進することを目的に実施する。
2. 対象 : 昨年度と同様に、ゼミ、実験、演習および履修者数が10名以下の科目を除く授業科目を実施対象とする。ただし、実施対象以外の科目についても、学部・学科・教員が必要とする場合には実施できるものとする。
3. 実施日程 : <前期>2009年 6月22日(月)～ 7月 4日(土):2週間  
<後期>2009年11月25日(水)～12月 9日(火):2週間  
\* 各学部の事情を考慮し、学期の途中で授業が終了する科目については、上記期間外に実施することも可とする。ただし、当該科目の結果の集計や授業担当教員への結果の通知等は、前期または後期に、他の授業科目と合わせて実施する。
4. アンケート内容 :
  - (1) アンケート様式  
別紙「2009年度版学生による授業アンケート」のとおり。
  - (2) 質問項目の特徴
    - ①昨年度同様、人材強化委員会にて検討された結果を踏まえた質問項目。
    - ②授業の総合評価として、授業に対する“満足度”を測定する。このアンケートは、改善された授業の成果を5段階で評価することを目的とする。
    - ③「個別質問項目」欄には、各学部・学科および担当教員が、当該学部・学科の教育目的・目標に合う質問項目や授業評価に対する信頼性を高めるための質問項目を自由に設定することができるようにしている。「個別質問項目」欄に設定した質問は、授業担当教員が学生に周知し、回答させる。学生の回答結果は、「共通質問項目」に準じて集計し、報告する。
5. 実施概要 :
  - (1) 実施方法
    - ①学生の無記名によるアンケート方式とする。  
\* 学業成績を評価する教員と評価される学生との間には、歴然とした力関係があることを踏まえ、リスクはあるものの、学生のプライバシーと公正さを期し、学生の率直な意見を聞くために、従来どおり無記名とする。
    - ②当日出席した受講学生のみを対象とし、後日のアンケート回収は無効とする。
    - ③アンケート用紙はOMR用紙を使用し、データは教務課のPCで処理し、後日情報メディアセンターのコンピュータで全体統計処理を行う。
  - (2) アンケート用紙の配付、実施、回収  
配付と実施は授業担当教員自身で行い、回収と事務室への提出は受講者に依頼する。なお、この受講者の選出と依頼は授業担当者が行う。
  - (3) アンケートの実施時間  
各授業時間の終了前10分程度を利用して実施することを基本とするが、授業の進行に合わせて適宜判断して実施する。
  - (4) データの読み込み・保管、結果の集計等  
データの読込作業は教務課が担当し、データの保管も行う。  
結果の集計は情報メディアセンター、結果の分析・報告はFD委員会が担当する。  
なお、アンケート用紙の原票は、データの読込後、授業科目ごとの結果と共に各授業担当教員へ返却する。

## 6. 集計結果等の取り扱い：

- (1) 各授業担当教員への結果の報告  
アンケートの授業科目ごとの結果は、該当部分を各授業担当教員に渡し、授業改善に役立てていただく。
- (2) 各学部・学科への結果の報告  
学部・学科における組織的なFD活動（授業改善策の検討など）を推進するため、各学部長・学科長に開講科目の集計結果を提供する。
- (3) 摂南大学内の掲示による公開  
全学・学部・学科ごとの傾向をみるため、これらの集計結果を掲示により学内公開する。
- (4) 摂南大学ホームページ上に学内公開  
公開を希望する授業科目については、担当教員自身のコメントを付記したうえで、公開する。公開は摂南大学内に限定し、学外からは閲覧できないようにする。  
公開の希望調査については、各学科長・教室主任が担当教員の希望を取りまとめて、教務課に回答する。

## 7. その他：

今回も事後に参加教員全員に対するアンケートを実施して意見を聴取し、今後の改善に活かす。

以 上

## 摂南大学「学生による授業アンケート」

### 《共通質問項目》

1. この授業にどの程度出席しましたか。
  1. 40%未満
  2. 40~60%未満
  3. 60~80%未満
  4. 80~100%未満
  5. 100%
2. この授業に意欲的に取り組みましたか。
3. この授業の復習をしましたか。
  1. まったくしなかった
  2. あまりしなかった
  3. どちらともいえない
  4. よくした
  5. 大変よくした
4. この授業の到達目標を達成できましたか。
5. この授業はシラバス等の内容に沿って行われましたか。
6. この授業の担当教員から授業に対する熱意を感じましたか。
7. この授業の担当教員は、授業内容を理解させるための工夫をしていましたか。
8. この授業の担当教員の話し方は、明瞭でわかりやすかったですか。
9. 総合的に考えて、この授業を受講してよかったと思いますか。

### 《個別質問項目》授業担当教員の指示にしたがって、回答してください。

- 10.
- 11.
- 12.
- 13.
- 14.
- 15.
- 16.
- 17.

### 以下の項目に関して、教員に特に伝えたいことがある場合には、書いてください。

この授業の満足できた点：

この授業の改善すべき点：

この教室（            教室）の設備などの改善すべき点：

その他の感想など：

ご協力、ありがとうございました。

**個別質問例** 個別質問は必要に応じて設定してください。以下は一例です。必ずしも以下から選ぶ必要はありません。授業単位での個別質問は設問 10 から 14 までの範囲でお願いします。設定された質問は先生ご自身で管理いただき、報告の必要はありません。

## 《質問項目集》

### 1. 学生自身の自己評価

- 1-1 わたしの受講態度は良好（遅刻、早退、私語などを慎む）であった。
- 1-2 わたしは授業を受けるにあたり、シラバス（授業計画）をしっかりと読んだ。
- 1-3 わたしは予習・復習などを積極的に行った。
- 1-4 わたしは授業時間以外に勉強した。

### 2. 授業の構成

- 2-1 この授業科目全体における各回の授業の位置づけは明確であった。
- 2-2 毎回の授業でそのねらいや到達目標がよく分かった。
- 2-3 講義内容は授業科目の趣旨に合っていた。
- 2-4 授業は計画的に準備されていた。
- 2-5 この授業科目を選択するにあたり、シラバスは役に立った。

### 3. 授業方法

- 3-1 教員の声の大きさ、話す速さは適切であった。
- 3-2 教員のプレゼンテーション方法（板書・視聴覚機器の利用など）は適切であった。
- 3-3 教員のプレゼンテーションは適切なペースで行われていた。
- 3-4 教科書・配付資料が効果的に利用されていた。
- 3-5 授業で課された演習課題は、この科目を理解するうえで役に立った。
- 3-6 資料プリントを配付することによって、この授業はもっと分かりやすくなる。
- 3-7 プロジェクターを利用することによって、この授業はもっと分かりやすくなる。
- 3-8 授業の工夫や進め方が、受講者の関心・理解・授業参加への意欲を高めた。

### 4. 受講者とのコミュニケーション

- 4-1 教員は受講者が理解しているかどうかを確かめながら授業を行っていた。
- 4-2 教員は受講者の質問や発言に適切に対応していた。
- 4-3 教員は受講者に質問の機会を与えていた。
- 4-4 教員は授業以外で質問などを受ける機会をよく知らせていた。
- 4-5 教員は受講者の授業に対する要望を聞く機会を与えていた。
- 4-6 教員は授業に集中できる静かな環境づくりを工夫していた。

### 5. 授業内容

- 5-1 この授業内容は理解できた。
- 5-2 授業内容の難易度レベルは、受講年次から考えて適切であった。
- 5-3 各回の授業における内容の分量は適切であった。
- 5-4 授業で課された課題（宿題）の内容は、この科目を理解するうえで適切であった。

### 6. 目標の達成度・履修の成果

- 6-1 成績評価の基準は明確であった。
- 6-2 この授業科目を受講して習得できた内容（知識・技術・見方・考え方）に満足できた。
- 6-3 この授業から知的刺激をうけた。

### 7. 総合評価

- 7-1 この授業を受講して、この分野への興味がわいた。
- 7-2 わたしにとってこの授業は有意義であった。

### 8. 設備等

- 8-1 この科目の受講者数は適切であった。
- 8-2 この授業で受講した教室の広さは適切であった。
- 8-3 この授業で受講した教室の環境（室温、換気、静粛性など）は適切であった。